

## 海外メディアによる被災地取材（韓国）

7月10日から7月18日、「東日本大震災後の復興に向けた日本の歩み」をテーマとする記者招へいプログラムにより、韓国から5名の新聞記者が訪日し、被災地での取材を行いました。

1. 震災により大きな被害を受けた自治体（岩手県、宮城県、仙台市）を訪問し、震災による被害状況、復興に向けたビジョンと課題、現在の地域の回復ぶり及び韓国からの支援等について、行政関係者にインタビューを行いました。



（達増・岩手県知事インタビュー）

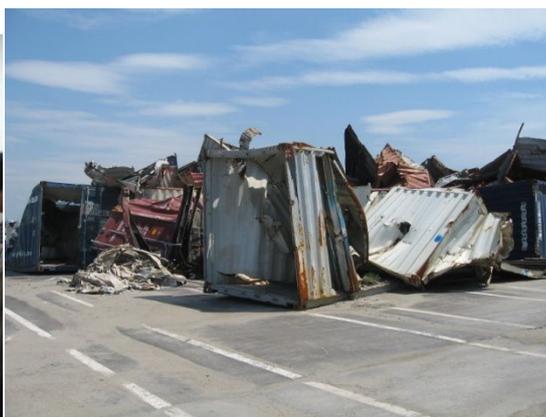


（奥山・仙台市長インタビュー）

2. 産官学連携によって先端技術の開発に取り組む企業、震災で工場設備に多大な被害を受けた企業、及び津波によって輸出用コンテナに大きな被害を受けた企業を訪問し、震災の影響から力強く立ち直りつつある日本企業の姿を取材しました。



（企業訪問（浅野酒店））



（被害を受けたコンテナ（仙台港））

3. 震災後に世界遺産に登録された平泉を訪問し、菅原・平泉町長に、世界遺産登録までの道のりや、世界遺産登録後の観光客数の回復等についてインタビューしました。ま

た、韓国との国際交流を行っている高校を訪問し、食を通じた地域復興プロジェクトを取材しました。



(平泉:中尊寺金色堂にて)



(被災地の高校生との交流(明成高校))

4. こうした取材の結果、以下のような記事が掲載されました。

- 7月22日 東亜日報紙  
「東日本大震災から4ヶ月…仙台に再び行ってみると  
『廃墟の中の祭り』全国から37万人が集まった」
- 7月26日 朝鮮日報紙  
「日本、被災地の復興資金のため公務員も給料10%カットで協力」
- 7月25日 濟州日報紙  
「東日本大震災の現場に行く(上)…3.11大地震と津波のその後」
- 7月27日 濟州日報紙  
「東日本大震災の現場に行く(下)…希望は捨てない」
- 7月26日 釜山日報紙  
「津波が通り過ぎた地、日本の現地と未来を見る(上)」
- 7月27日 釜山日報紙  
「津波が通り過ぎた地、日本の現地と未来を見る(下)『復興』構想は成功するか」
- 8月5日 中央日報紙  
「新日本紀行」